

# 日芸協中部ニュース No. 46

## 2025年4月1日 発行

編集・発行: 日芸協中部 広報委員会

### ☆新年度のスタートに当たって

会長 大澤龍己

昨年4月、前会長の加藤精吾氏から会長を引き継ぎ、新役員体制が発足しました。

当会創設40周年記念CDの発売を始めとして、第35回日芸協中部コンサート、バリアス研修会、アンデパンダン発表会の主要事業を全役員一丸となって実施いたしました。特にバリアス研修会は、台風の到来によりやむを得ず延期ましたが、研修委員の懸命の努力により約1ヶ月後に実施することができました。

どの事業も会員の皆様のご支援、ご参加により盛会に終えることができ、感謝申し上げます。また2月15日には全日本ハーモニカ連盟の依頼により第4回全日本ハーモニカ演懐コンクールを名古屋で開催しました。中部ハーモニカ連盟様と共に足掛け2年に亘り準備してきました。お客様、出演者の皆様から大変素晴らしいコンクールであった旨の感想が多数寄せられました。大勢の方が来場され、ハーモニカの音色を聴きたい方が潜在的に沢山いらっしゃるということに意を強く持ちました。

当会も新型コロナ等で会員数が大幅に減少しており、過去3年間会員増強策等に腐心してきましたが、「まずハーモニカの音色を聴いてもらう」ことが重要であることを再認識した次第です。今年度事業につきましても、会員の皆様に満足いただけるよう、そして会員でない大勢の方にハーモニカの音色を聴いていただける企画を推進して参りたいと思います。

当会が後援している名古屋、三河、知多、豊橋、岐阜県下、三重県下での演奏会も回を重ねてより充実しております。会員の皆様には、地域外の演奏会にもどうぞ足をお運び頂き、ご支援を賜りますようお願い申し上げます。

### ☆14回複音ハーモニカコンクール

本選ライブが11月9日に行われ、当会の会員では下記の方が受賞されました。

#### <ミドルの部>

3位 柴山真由美さん（名古屋市）ヴァルセンティーノ

#### <シニアの部>

1位 辻 豊志さん（豊川市）宵待草幻想曲

2位 戸田 明さん（名古屋市）ソルベーグの歌

### ☆第2回複音ハーモニカ編曲コンクール

柴山真由美さん（名古屋市）が第2位を受賞されました。編曲作品はG.ホルスト作曲「ジュピター」です。

### ☆第29回 ハーモニカ・アンデパンダン発表会

1月13日（祝・月）に名古屋市名東文化小劇場で開催されました。合奏14組、独奏18人で計122人が出演し、来場者は約220人でした。合奏出演申込が前年より4組増え、演奏曲数も増えたため開演時間を10分繰り上げるなどして申込者全員が出演できました。初舞台に挑戦し、堂々と日頃の練習成果を發揮して満足そうな演奏者の姿が心に残りました。第1部の締めでは今年度準師範合格の田井敏昭さん、渡辺康子さんのお披露目演奏があり、第2部の最後にはゲストの加藤精吾さん（当会の名誉会長）による7本のハーモニカを巧みに使った「チャードダーシュ」他計3曲の素晴らしい演奏があり盛況のうちに終了しました。舞台運営面では今後さらに進むと思われる運営スタッフの高齢化、なり手不足対策としてマイクスタンドを舞台に置いてそのままにするなどの新たな取り組みがされました。



ゲストの加藤精吾さん

### ☆第4回全日本ハーモニカ演懐コンクール

2月15日（土）全日本ハーモニカ連盟主催による本選ライブが名駅前「ウインクあいち」で開催されました。演歌・懐メロ等に限ったコンクールで、予選を突破したソロ21人、アンサンブル11組42人が競う本選です。真野照久全日本ハーモニカ連盟会長の開会挨拶に始まり、約3時間にわたる熱い演奏が繰り広げられました。演奏終了後、審査委員の先生方6人によるスーパーライブがあり、会場全体が酔いしました。

4カテゴリーの各優勝者は、①無伴奏ソロ：吉本小百合さん「風の盆恋歌」②伴奏付ソロ：小林正人さん「喝采」③複音小アンサンブル：デュオ・きらきらぼし「昭和枯れすすき」（岐阜）④クロマチック・その他小アンサンブル：福神-FUKUJIN-「千本桜」でした。なお、グランプリは最高得点を獲得した小林正人さん、特別賞は無伴奏ソロ部門の草深茂さん「丘を越えて」（三重）でした。

チケットの販売は600枚、出演者も含めた来場者数は約700人となり、大盛況の中、コンクールの本選ライブを終えることができました。



## ☆豊橋ハーモニカ愛好会 第9回交歓演奏会

今年も豊橋を中心に、静岡県西部や東三河のハーモニカ愛好家が集まり11月23日（木）に、会場は築100年弱のレトロな豊橋市公会堂で開催されました。長かった夏も終わり、ハーモニカの音色が心に沁みる季節になってきました。昭和の歌謡曲やポップス等、独奏・アンサンブルで聴くと、まるで青春時代にタイムスリップして思わずハミングが出ます。最後のゲスト演奏は複音ハーモニカコンクールの昨年と今年の部門別優勝者の辻 豊志さんと高柳ひろみさんの演奏をたっぷりと味わいました。天候にも恵まれて、思っていた以上の来客に感謝しております。ゲストを交えて来客との歓談があり、ハーモニカファンにとって楽しい一日になったと思います。

（寄稿：澤本守生さん）



豊橋フィフティーンクラブの演奏

## ☆第9回ピュアハーモニカコンサート（東濃支部）

11月24日（日）多治見市にある「セラミックパークMINO」にて開催されました。3年に1度開催の「国際陶磁器フェスティバル」が同施設にて10月に開催されたため、例年より1ヶ月遅い開催となりました。会場は国際会議場のため、数少ない音響1級の資格を持つ音響専門の方に依頼し、良質なサウンドをお届けしています。1部は3サークルの合奏9曲、2部は指導者の独奏5曲とトリオの演奏3曲の17曲が演奏され、最後にアンコール曲の「いい日旅立ち」で幕が閉じました。

今回の特徴は、殆ど演奏されていない「小さな木の実」、「ロマーナの祈り」、「リベルタンゴ」等が演奏された事です。お客様には楽しんで頂けた事と思います。

（寄稿：加藤精吾さん）



## ◆イベントカレンダー◆

開催日	内 容	開始時間	会 場	備 考
4月21日(月)	春のハーモニカまつり	15時	日暮里サニーホール(東京都荒川区)	有料
5月3日(土)	日芸協中部総会	10時	日本特殊陶業市民会館 第1会議室(名古屋市中区)	
5月25日(日)	第19回 三河ハーモニカ演奏会	12時05分	刈谷市総合文化センターイリス小ホール	
6月7日(土)	第43回 FIHハーモニカコンテスト	13時	全電通ホール(東京都御茶ノ水)	有料
6月15日(日)	第19回 全知多ハーモニカ演奏会	13時	半田市アイプラザ半田	
6月29日(日)	独奏曲演奏法解説(仮称)	13時30分	未定	有料
7月19日(土)	第36回 日芸協中部ハーモニカコンサート	12時30分	名古屋市芸術創造センター	有料
9月9日(火)	トリオ99岐阜コンサート(仮称)	13時	岐阜市メディアコスモス	
10月11日(土)	第20回 なごやハーモニカ演奏会	12時30分	名古屋市天白文化小劇場	
10月19日(日)	第14回 ハーモニカふれあいコンサート	13時	ヤマカまなびパーク(多治見市)	
10月26日(日)	第10回 ピュアハーモニカコンサート	13時	セラミックパークMINO(多治見市)	
10月 予定	第3回 三重ハーモニカ街道演奏会	13時	鈴鹿市ふれあいホール	
11月13日(木)	第10回 豊橋ハーモニカ愛好会交歓演奏会	12時30分	豊橋市公会堂	
11月15日(土)	第15回 複音ハーモニカコンクール	13時	スクエア荏原ひらつかホール(東京都品川区)	
11月 予定	Various(多種講座)研修会	未定	大府市愛三文化会館	有料
2026年2月1日(日)	第30回 ハーモニカアンデパンダン発表会	12時30分	名古屋市天白文化小劇場	
<その他中部地区的演奏会予定>				
開催日	内 容	開演時間	会 場	備 考
5月6日(火・祝)	新緑中部ハーモニカ連盟コンサート	12時20分	名古屋市名東文化小劇場	
9月21日(日)	秋の中部ハーモニカ連盟コンサート	12時30分	名古屋市天白文化小劇場	

## ☆複音ハーモニカ全国大会シニアの部

豊川の辻さん 初優勝 !!

(中日新聞 2024年11月29日より一部抜粋して転載)

11月9日に東京都であった第14回複音ハーモニカコンクールで、日本ハーモニカ芸術協会準師範の辻 豊志さん(80歳)がソロ部門シニアの部で初優勝した。定年退職後に巡り合った音楽。前回2位と悔しさを味わっただけに「ひとつ上にどうしても挑戦したかった。到達できてうれしい」と笑顔で語った。

複音ハーモニカは上下2層の穴を備え、舌先でふさいだり、くわえる深さを変えたりして複雑な和音を奏でる。辻さんは課題曲「荒城の月」のほか、「宵待草幻想曲」を自由曲として演奏。録音の審査を経て、70歳以上によるシニアの部で本選ライブに進む6人に残った。自宅などで練習を重ね、当日は協会長ら審査員5人を前に2曲計約8分間を吹き切り、メロディーやリズム感、独創性などで念願の1位に輝いた。



複音ハーモニカとの出会いは67歳。「何もすることがなかった」と振り返る定年退職後、何げなく訪れた演奏会で「これならできるかも」と思い立った。すぐに、ハーモニカ4本を購入し、自己流で練習を始めた。「もっと上手になりたい」と、75歳から岡崎市の協会師範、松山俊江さんの教室に通い、めきめき腕を上げた。松山さんの孫のコンクール入賞に刺激を受け、昨年初めて大会に挑戦した。「うまく演奏できると爽快感がある。これからも向上心を持ち続けたい」と辻さん。

今後はハーモニカの普及にも励むといい、「小さくてポケットに入り、この歳でも吹ける楽器、多くの人に楽しんでもらいたい」と意気込む。